

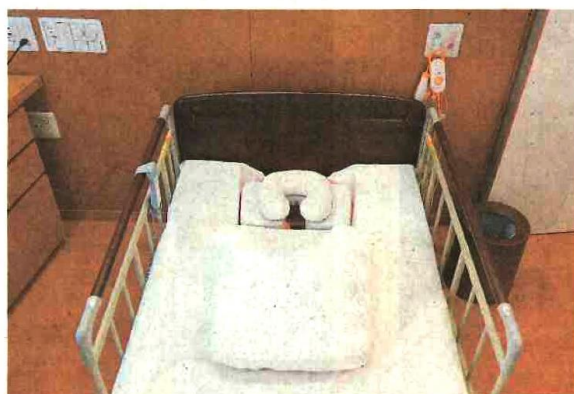
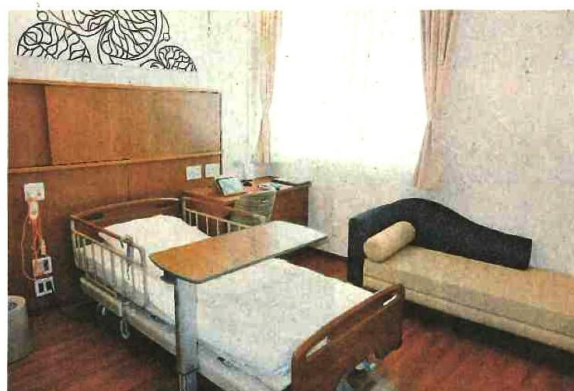
入院の際の病室代が思ったよりも高かったという経験をした人もいるのでは。倉敷成人病センター（倉敷市白楽町）は20年も前から特別室を除く全病室を個室で無料にしている。周囲に気兼ねなく治療に専念してもらおうが願いだ。

もともとは大部屋もあり、個室は有料だったが2004年、創業者で当時理事長を務めていた故・須原銀兵衛氏（1993年、山陽新聞賞受賞）が「ホテルのような快適な空間で療養してほしい」とセンター棟新設に併せ、個室化と無料化に踏み切った。現在、新棟を含む266床が個室で無料。通常、個室は公的な保険が適用されず、全額自己負担となる。

新棟は眼科と婦人科、センター棟はそれ以外の診療科の患者が対象。シャワー、トイレを含めた部屋の広さはセンター棟が14・27平方メートル、新棟の眼科が15・65平方メートル、婦人科が19・62平方メートル。国が定める病室の最低面積に比べ、いずれも約2倍の広さがある。

全室個室で部屋代無料

倉敷成人病センター



（上から）柔らかな木目が印象的な婦人科の病室▽眼科の病室ベッドはうつぶせで治療を受ける際に体に負担がかからないようにしている▽産科の病室は赤ちゃんと一緒に過ごせる

20年前から 周囲に気兼ねなく療養専念

新棟の眼科のベッドはうつぶせで治療を受ける際に体の負担が軽くなるように配慮。照明が直接顔に当たらないように工夫している。婦人科は座ったままシャワーができる。センター棟の産科の部屋には新生児の哺乳瓶やおむつ入れなど品目別に収納できる家具を置いている。

タオル類も無料。眼科、婦人科、産科の入院者は備え付けのタブレットで院内のコンビニの商品を注文することができ、スタッフが届ける。

面会時間は午前8時から午後8時まで。滞在時間に制限はない。

大澤美登里看護部長は「患者さんからは周囲を気にすることなく、病気のことや退院後の生活などいろいろな話をしてくれ、私たちもじっくりと耳を傾けることができる」と話す。

厚生労働省の調査では個室の料金は1日当たり平均約8300円。おおむね都市部は高く、東京都では約2万円。同センターによると、全室個室で無料にしている民間病院は全国でも少ないという。（二羽俊次）